

中海フルーツパーク

中海フルーツパークは、主にイチゴやサツマイモを生産する地元の農業団体が運営する季節限定のイベントです。この団体は、人口の高齢化が進み、若い世代の農業離れが進む中、地域の耕作放棄地の再生に力を入れています。鳥取県だけでも数千ヘクタールの生産性の高い農地が近年耕作放棄され、遊休地が増え続けています。独自の市場を持つ協同組合として、この団体は放棄された農地の一部の生産性を回復させることに成功しました。また、年齢、性別、障がい、国籍を問わず、誰でも雇用するという方針を導入し、その他の企業が学ぶべき模範となろうとしています。

中海フルーツパークは、米子水鳥公園に隣接しており、9つの温室でいくつかの品種のイチゴが年間25,000株生産されています。11月から5月までは「イチゴ狩り体験」があり、客は料金を支払うことで、温室内でイチゴを収穫して食べたり一部を家に持ち帰ったりできます。秋には同様の「さつまいも掘り体験」を実施しています。また、年間200トン以上のサツマイモを生産しており、その一部は香港などのアジア市場に輸出されています。